

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（中学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 高浜町立高浜中学校

継続して運動に親しむ資質・能力の育成

<保健体育の授業について>

- 誰もが気軽に取り組める運動
 - ・今年度もコロナ禍の中での授業実施になる。体力向上に加え、誰もが楽しく運動に取り組める活動や、家庭でも行える活動を取り入れることで学校でも家庭でも継続して運動に取り組む習慣を身につけさせる。
- 運動・トレーニングの必要性や意義を認識させる。
 - ・保健学習を中心に、中学生の時期は「持久力・筋力」の向上に最適な時期であること、体力を高めるには「運動・栄養・休養」が大切であることを実技の授業はもちろんのこと、保健の学習のなかでも理解させる。
- 体力をバランスよく高める。
 - ・毎時間、グラウンド2周または体育館5周（持久力を高める）、ストレッチ（柔軟性を高める）、腹筋、背筋、腕立て伏せ、馬跳び、バーピー（力強い動きを高める）、開閉ジャンプ（巧みな動きを高める）などのトレーニングを行う。（男女とも各20回）

<特別活動について>

- 主体的に運動に親しむ機会を増やす。
 - ・生徒会を中心に、色別縦割り班で協働して体力が高められる種目を校内体育において企画・運営をさせ、実施する。

<運動部活動について>

- 感染症対策のため、部活動日も少なくなっているため、限られた時間で楽しくスポーツに関わることができる運営を行う。
- 文化部にも、中学生期の持久力向上の意義や大切さを知らせ、計画的に持久走を取り入れるよう呼びかけていく。また、雨天時は15分間走を行う時間を設定し、全部活動部員の持久力の向上を図る。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 町マラソン大会への積極的な参加を勧め、参加生徒が昨年度以上の記録を目指す。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（中学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 高浜町立内浦中学校

持久力と調整力を身につけよう

＜保健体育の授業について＞

・持久力をつけるために

授業前に1000メートル走や時間走を、年間を通して実施する。また、校内マラソン大会として町主催の「はまなすマラソン大会」に参加する。事前に各自が目標設定をして練習・試走を実施し持久力をつける。

・調整力を身に付けるために

体育で、ウォーミングアップとしてラダーステップ、馬跳び、両足跳び、サイドステップ、クロスステップ、バック走、スクワット、手押し車など、様々な動きを取り入れた運動に取り組みさせる。また、グラウンドのタイヤ跳び、平均台、鉄棒等を利用したサーキットコースを設定し、取り組みさせる。

＜特別活動について＞

体育大会では、応援合戦の創作ダンスに取り組む。音楽に合わせて皆で様々な動きを行うことで、心身両方の調整力を養う。

＜運動部活動について＞

全ての生徒がバドミントン部に所属している。ノック形式の反復練習を、負荷をかけながら繰り返し行うことで持久力をつける。調整力は、バドミントンにおけるコーディネーショントレーニングを実施することで多様な動きに対応できるリズムの取り方を身に付けたり反応のスピードを速めたりする。また、体幹トレーニングと10分間走や坂道ダッシュ、フットワークなどで基礎体力の向上にも努める。

＜その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）＞

保健室前などに健康に関するコーナーを設けたり、健康観察や相談活動を充実させたりして、健康教育を推進する。健康づくりの基本として「早寝・早起き・朝ご飯」を奨励しており、お便りや家庭教育講演会の場合などを利用し、家庭に協力を依頼している。また、基本的な生活習慣の定着を図るため、「ノーメディアチャレンジ」を実施する。さらに長期休業中においては、規則正しい生活リズムを維持するために、「生活点検カード」を作成して保護者に確認してもらったり、朝のラジオ体操に積極的に参加したりするなど、家庭や地域と連携した取組を行っていく。